

「 」内は生徒の各活動における規準

大阪府立富田林高等学校 探究 ルーブリック

段階	評価点	探究シート					役割分担シート			
		①	②	③	④	⑤				
テーマ設定 (Plan)	①自分たちが調べようとするテーマを決める力(テーマ設定力) 「自分が調べようとする課題(テーマ)が明確か？」	動機や興味関心が明瞭で、研究する目的を明確に持っている。	動機や興味関心が明瞭である。	動機や興味関心が不明瞭である。						
	②実現可能性の判断力 「設定した課題(テーマ)は実現及び検証可能なものになっているか？」	検証に必要な設備などの条件を実現可能な段階まで洗い出し、しっかりと課題を設定できている。	自分たちの力で、ある程度検証可能な課題を設定できている。	自分たちの力で検証可能な課題を設定できていない。						
	③テーマに関係する資料を探す力(先行研究調査) 「課題(テーマ)に関して先行研究を調査しているか？」	研究テーマに必要な先行研究の学術的な文献や資料などについてよく調べている。	研究テーマに必要な先行研究の初歩的なことを調べている。	研究テーマに必要な先行研究についてあまり調べていない。						
	④資料からわかることを整理する力 「調査した先行研究の内容を論理的に整理しているか？」	基本的な資料・文献を参照し、その内容が論理的にわかりやすく整理されている。	基本的な資料を参照し、その内容が整理されている。	基本的な資料・文献を参照していない。						
	⑤整理した情報から仮説(自分の主張や予想)を見つける力(仮説設定力・構想力) 「整理した内容に基づき、適切な仮説が設定されているか？」	研究を推し進めていく上で、適切な仮説が明確かつ論理的に仮説が設定されている。	研究を推し進めていく上で、基本的な仮説が設定されている。	仮説は設定されているが、研究を推し進めていく上では不十分である。または仮説が設定されていない。						
研究段階 Do ↓ Check ↓ Action	⑥自分たちの仮説を裏付けるのに必要な計画立案力 「仮説を裏付けるための調査や実験を実施する計画が立てられているか？」	仮説を裏付けるために必要な内容を調査し、その内容を精査・厳選し、実施可能な計画が立てられている。	仮説を裏付けるために必要な内容を調査し計画が立てられている。	仮説を裏付けるために必要な内容が調査されておらず、計画性もない。						
	⑦調査・研究・実験方法(実行力) 「仮説を裏付ける調査・実験が計画的に行われているか？」	調査・研究・実験が緻密かつ計画的に行われている。	調査・研究・実験がある程度計画的に行われている。	適切な調査・研究・実験が行われていない。						
	⑧自分たちの主張・結論を筋道立てて、組み立てる力(考察力・思考力) 「調査・実験を経て、論理的な考察・結論を導き出しているか？」	情報の整理・分析を緻密に行い、様々な手法を用いて論理的に説得力のある考察・結論を導いている。	情報を整理し、様々な手法を用いて論理的に考察・結論を導いている。	情報の整理・分析が行われず考察・結論も論理的でない。						
	⑨考察から新しい仮説を設定する力(思考力・判断力・構想力) 「次の探究サイクルの確立に向け、考察・結論から新たな仮説を生み出しているか？」	考察・結論から、新しい適切な仮説を設定し、次の調査・研究・実験の方法について展望を持った構想を立てている。	考察・結論から、新しい仮説を設定し、次の調査・研究・実験の方法を考えている。	考察・結論から、新しい仮説を考えていない。						
取組姿勢 (意欲)	⑩役割分担 「目標達成に向けて、役割が適切に分担されているか？」	役割分担が明確で、各班員の特性を生かし、適切な係分担がなされている。	役割分担がある程度明確である。	役割分担がされていない。						
	⑪協働性 「目標達成に向けて、グループのメンバーがそれぞれ協働して探究活動に取り組んでいるか？」	班員どうしが積極的に議論を交わし、各班員が問題解決の案を提示し、グループ内でコンセンサスを得ながら各々が主体的に研究を進めている。	班員どうしが協力しながら研究を進めている。	班員どうしが協力して研究を行っていない。						
	⑫社会への貢献 「社会とのつながりを考えたり、社会への貢献を意識したりして取り組んでいるか？」	社会的意義を踏まえ、社会に貢献できることを明確に意識して取り組めた。	社会的意義や社会貢献をある程度意識して取り組んだ。	社会的意義を全く考えずに取り組んだ。						
	失敗をおそれず挑戦する気持ちでやれているか。	Yes	No							

コース名()研究テーマ()

()年()組()番 名前()